

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

DNR(5投2休)+Ara-C[100 mg/m<sup>2</sup>]療法疾患名 白血病

主治医 \_\_\_\_\_ 指導医 \_\_\_\_\_ HBs抗原( + - ) HBc抗体( + - ) HCV抗体( + - )

## スケジュール

	day1	day2	day3	day4	day5	day6	day7
キロサイド(シタラビン) 100 mg/m <sup>2</sup>	→	→	→	→	→	→	→
ダウノマイシン(ダウノルビシン) 50 mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓	↓	↓		

【注意】 \* CV カテーテル、PI カテーテルなどの中心静脈路確保を考慮する。

\* 1日の尿量が2000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。

\* 腫瘍崩壊症候群予防のため、キサンチンオキシダーゼ阻害薬あるいはラスブリカーゼの投与を考慮する。

\* シタラビンはインフュージョンポンプを使用して7日間持続静注する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

## day 1-5

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| ① 生食 500mLにて血管確保         | 維持(20mL/時間)         |
| ② グラニセトロン注 3mg 1筒        | ④開始の30分前に静注         |
| ③ キロサイド + 生食を加えて48 mLとする | 24時間持続静注(2 mL/時間)   |
| ④ ダウノマイシン + 生食 100 mL    | 点滴静注 30分(200 mL/時間) |

## day 6、7

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| ① 生食 500mLにて血管確保         | 維持(20mL/時間)       |
| ② キロサイド + 生食を加えて48 mLとする | 24時間持続静注(2 mL/時間) |

	day1	day2	day3	day4	day5	day6	day7
月日	/	/	/	/	/	/	/
キロサイド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ダウノマイシン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓		
確認							